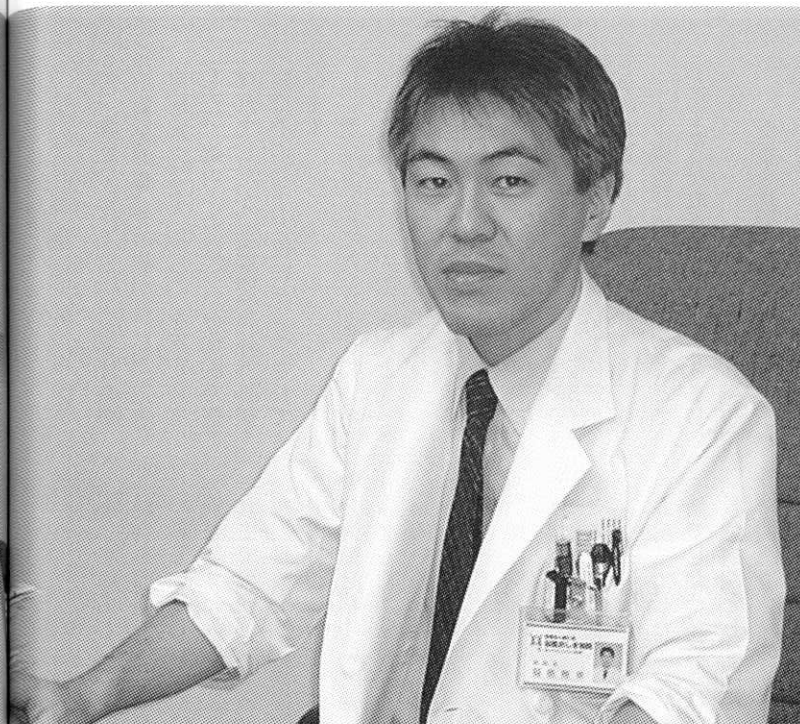


特集 選ばれる病院とは

# ホスピスの質の評価はどうなるのか

病院機能評価が条件となったホスピスの開設。生活の場であるホスピスが病院内病棟へ押し込められる危険性から、今後のモジュール評価に期待。

函館おしま病院理事長・院長 福德 雅章



●ふくとく・まさあき 昭和36年生まれ。函館出身。昭和61年金沢医科大学卒業。平成元年同大学血液免疫内科助手。平成6年同大学血液センターの副部長を兼任。平成10年には栄光病院(福岡県)の緩和ケア病棟に勤務。平成14年1月から函館おしま病院(旧渡島病院)に勤務、2月より同病院の理事長・院長に就任。日本内科学会、日本血液学会、日本臨床血液学会、日本リウマチ学会、日本緩和医療学会、日本サイコオンコロジー学会、日本死の臨床研究会、日本シェーグレン症候群研究会

●函館おしま病院

一九九〇年、厚生労働省によって緩和ケア病棟の施設基準が定められ、翌九一年ホスピス・緩和ケアの啓発・普及やホスピス・緩和ケア病棟の資質の向上を目的とした全国ホスピス・緩和ケア病棟連絡協議会(以下協議会)が発足しました。発足当時の会員は全国で五施設のみであったが、昨年十一月には承認を受けた会員施設数は一三となつていきます。しかし、日本での年間約三〇万人のがんによる死亡者のうち、ホスピスによるケアを受けている人は全体の僅か約二・五%にすぎません。

## ホスピスの質に関する問題

協議会ではホスピスの質の評価について専門委員会での評価方法について検討していますが、量的な整備が進んできた一方で質を疑問視せざるを得ないところも

あるようです。

「近年、急速にホスピス・緩和ケア病棟が増えていく一方で、質の評価が必要であるということ、協議会では早くから委員会を立ち上げて、評価方法について検討していました。

実際、本来は理念先行であるべきはずなのに、経営的戦略から、高額な診療報酬が保証されるホスピス・緩和ケア病棟を開設している病院も増えつつあるようです。そこには、理念はなく、当然、質も問われています。ホスピス・緩和ケア病棟は包括医療です(診療報酬が固定している)ので、手厚い治療や看護をするよりは、言い方は悪いですが、適当にやっている方が経営的なマイナスが少ないということもそれに拍車をかけているように思います。すなわち、従来の施設基準(主として、ハード面の項目)だけでは問題があったと言えます」

## ホスピスが病院内病棟に位置づけられることへの危惧

「こうした現状の中で昨年四月、厚生労働省は緩和ケア病棟の

施設基準に日本医療機能評価機構等が行う医療機能評価を受けていることを追加しました。つまり、今後ホスピスを設置するには医療機能評価を受けなければならぬとなりました。函館おしま病院では来年春にホスピス病棟を開設します。この追加された基準については、ホスピスが病院内病棟に位置づけられてしまうことへの危惧する意見もあるようですが。

「緩和ケア病棟施設基準に医療機能評価の項目が加わるということで、協議会では、全国のホスピス・緩和ケア病棟を持つ施設にアンケートを行いました。その時点では約二割しか機能評価を受けていない、という状況でした。ちょうど協議会の方でも、質を評価するための委員会を立ち上げていたところでしたので、この施設基準の改訂は青天の霹靂だったと思います。

協議会で問題視していることには、まず病院全体（母体）が悪い評価を受けたとしても、ホスピス・緩和ケア病棟は非常に質の高い運営をしている場合があり、その逆もあり得る。一概に病院全体の評価だけで判断することは、せっかく、しっかりとした理念を持つ

て、ホスピス・緩和ケア病棟を創ろうとする新しい芽を摘みかねない、ということですね。

もう一つ、ホスピスは本来、生活の場であるべきで、従来の病院のあり方ではない方が望ましいことから、この機能評価をクリアするために、ホスピス・緩和ケア病棟がより病院的になつてしまう（病院内病棟）と危惧する意見もあります。いずれにしても、この機能評価という条件付けは、色々な議論を呼んでいますし、我々のようにこれからホスピスを立ち上げようとする病院にとっては、とても高いハードルとなりました」

## ホスピスの質の向上に必要なもの

——よいホスピスを作り上げる、またホスピスの質の向上に必要なものは何ですか。

「我々の病院はまだ実際に運営しているわけではありませんので、自分らが質の高いホスピスを作り上げるために何をすべきか、という観点から考えてみます。

厚生労働省の動きを受けて、現在協議会は日本医療機能評価機構と協力して、ホスピス・緩和ケア

病棟独自の評価モジュールを作成中です。これにより、いずれは病院全体だけではなく、病棟機能に分けての質の評価もなされることとなりましょう。

当然、このモジュールの中には、理念はもちろんのこと、患者の尊厳・プライバシーの保護、適切な療養環境の整備、スタッフの教育の充実、ケアの内容（コミュニケーション、全人的ケア、家族のケアなど）、ボランティアの適切な導入などの項目が盛り込まれていくことになると思いますが、それら一つ一つをクリアしていくこと

が結果として質の高いホスピスを作り上げることになると考えられます。

本来、ホスピス・緩和ケア病棟はハードよりソフト面で評価されるべきですので、それは望ましいことだと思います。そして、それは単に表面的に形だけを整えるだけではなく、その根底には、病める方が最期までその人らしく生き抜くことを精一杯支援する、という純粹な気持ちを我々スタッフが常に忘れないことが、最も重要であると思っています」

# 紙工房

結婚式用プロフィール  
フルカラーコピー&プリント  
1部110円より(B4両面・厚紙)

- 高速5円コピー
- フルカラーコピー50円より
- データ出力 名刺判～A1判
- デジタル印刷(のし紙・短冊・賞状)
- カット文字加工

亀田八幡宮交差点角

(有)パピエ吉田 吉田紙店

函館市宮前町23番13号

電話(0138)41-2310 FAX(0138)41-8555

e-mail : p-yosida@crocus.ocn.ne.jp